



福山大学

FUKUYAMA UNIVERSITY

学報

2023.3.20 Vol.175

三蔵五訓

真理を探究し、道理を実践する。
 豊かな品性を養い、不屈の魂を育てる。
 生命を尊重し、自然を畏敬する。
 個性を伸展し、紐帯性を培う。
 未来を志向し、可能性に挑む。



祝 卒業

令和4年度	学位記授与式	学長式辞	……………	1
令和4年度	学位記授与式	理事長祝辞	……………	2
令和4年度	学位記授与式	来賓祝辞(福山市長)	………	3
令和4年度	学位記授与式	来賓祝辞(福山商工会議所会頭)	…	4
令和4年度	学位記授与式	在学生送辞・卒業生答辞	…	5
令和4年度	学生表彰(卒業生・修了生)		……………	7

卒業おめでとうございます！



福山大学イメージキャラクター
「ふくりん」

不条理に立ち向かい、 新たな道を切り拓こう！

令和4年度 学位記授与式 学長式辞



学長 大塚 豊

福山大学を卒業され、学士あるいは修士の学位を授与された皆さん、おめでとうございます。このたび学士課程を卒業する人は863名、大学院の修了者は20名です。コロナ禍以前には、大学会館の大ホールに卒業生、ご臨席くださる保証人の皆様、ご来賓各位、本学教職員が文字どおり一堂に会して学位授与式を実施していました。しかし、今回は新型コロナウイルス感染防止を第一に考え、来場者を制限した上で実施せざるを得ません。会場にお入り頂くことができませんけれど、今日まで学業に打ち込む学生の皆さんを物心両面から支援して下さり、この晴れの日をお迎えになった保証人の皆様にも、本学の教職員を代表して、お祝いの気持ちと、長年にわたる本学へのご支援に心から感謝を申し上げたいと思います。

学位授与式に限らず、皆さんの本学在学中のかなりの期間がコロナ禍の影響を大きく受けました。教室に教員と学生とが集まって授業を行うという、当たり前の、ありふれた日常の光景が劇的に変わったのです。対面授業を止めて、オンライン授業のみにせざるを得なかった時期もありました。本学はウイルス感染防止と教育の継続とを両立させるために、最大限の感染防止対策を講じて、対面授業をできるだけ維持して来ました。また、オンラインの授業、とくに学習者が自分自身の都合の良い時間に視聴できるオンデマンド方式の遠隔授業や、日頃は周りに多くの学友がいる教室ではなかなか発言しにくいと感じている人もセレッソの掲示板や書き込みであれば、気兼ねなしに発信できると、思いがけず、オンライン授業のメリットも認識されることとなりました。そうは言っても、大学は授業を受けるだけの場ではありません。サークル活動や課外におけるさまざまな活動、友人との付き合いも相当に制限されてしまいました。皆さんにはまったく大変な時期に本学で学んで頂くことになってしまいました。コロナ禍のために、指導において十分に行き届かなかったこともあったかも知れません。どうか本学がこの間に置かれた状況を理解して、寛大に考えて下さればと思います。

さて、本日はせつかくの機会ですので、今後の皆さんに期待することについて少しだけ話しておきたいと思います。

中国の思想家・哲学者の朱子あるいは朱熹が残した言葉の中から、私が大切と思う言葉を拾ってみました。朱子は皆さんがご存知のとおり、儒教史上、空前絶後の組織哲学、いわゆる朱子学を打ち立て、中国はもとより日本、朝鮮にも絶大な影響を与えました。その朱子が編んだ『孟子集注』という書物の中で、本来は張栻という人の言葉だとも言い伝えられますが、「血気の怒りは有るべからず、理義の怒りは

無かるべからず」と記されています。とくに若い時の血気に任せて、一時の感情や自分勝手なことで怒るのは駄目だということです。しかしながら、周りを見回してみると、世の中には不正義や不条理が溢れています。理由はどうあれ、兵士ではない無辜の民がこの瞬間にも命の危険に晒されています。また、女性だからというだけで、民族や宗教が違うというだけで、また、性的指向や性自認を理由に不当な差別や迫害を受けている人がいます。そうした道理が通らないことに対して怒らないのもまた駄目だということです。本学の「三蔵五訓」の中にも「真理を探究し、道理を实践する」と謳われています。古くはエリートのためのものであった大学も同一年齢層の半数以上が学ぶ今日では、かつての高い価値は相対的に薄らいでいます。しかし、そうは言っても社会ではまだ最高学府に位置付く大学という教育機関の卒業生として、皆さんにはこの朱子の言葉を心に留めておいて、実践して頂きたいと思います。社会の不正義や不条理から目をそらし、自分さえ良ければではいけないと思うのです。

また、皆さんは福山大学において、それぞれ自ら選択した専門学問分野の教育を受け、本日の卒業を迎えられました。是非ともその学びの成果を活かして、社会のために役立てて頂きたいと思います。皆さんが本学で学んだ事柄と、これからの職業や生活の中で取り扱い、あるいは挑戦すべき課題との距離は、人によって、その度合いが様々だと思います。皆さんのこれからの道が如何なるものであれ、生産の場、科学研究の世界、あるいは日常の生活場面でさえ関係する知識・技術は日進月歩です。ようやく一つの課程を終えた皆さんを前にして、こんなことを言うのは酷ですが、今獲得した知識や技術もあっと言う間に陳腐化してしまいます。しかし、皆さんには常に高みを目指してほしいのです。皆さんは卒業研究をはじめとして、未知の内容を自ら探り、その何たるかを知る術を学んだはずで、先人から伝えられた知識や技術を身に付けるだけでなく、自ら新しいものを手に入れる方法です。学びに終わりはありません。人はずっと学び続けたいといけません。福山大学で学んだ知識、技術、そして何よりも学びの方法を活かして、新しいことに挑戦し続けて下さい。福山大学も挑戦を続けます。また、卒業は大学との別れではありません。福山大学はいつでも皆さんと共にあり、いつでも門戸を開いて皆さんを待っています。どうか皆さんには、これからも本学の挑戦に積極的に関わって下さるよう、心から願っています。

最後に、皆さんのこれからの日々が幸多きことを祈念して、私からの饒の言葉といたします。

令和5年3月20日

実社会に羽ばたいていく 皆さんへ

令和4年度 学位記授与式 理事長祝辞



学校法人 福山大学 理事長 鈴木 省三

本日の令和4年度福山大学学位記授与式にあたりご挨拶申し上げます。卒業生・修了生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

さて、卒業生・修了生の皆さんの多くは、平成31年4月に入学されましたが、翌年の令和2年1月より日本国内における新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、日常生活において様々な制約と混乱が生じ、入学時には全く想定できなかった4年間の学生生活を過ごされましたが、皆さんは、辛抱強く日々精進され、それぞれの目標に向かって種々の困難を克服し、めでたく本日を迎えられ、明日より実社会へと羽ばたいていかれます。先ず以て、皆さんのこの間のご努力に心より敬意を表しますとともに、これまでの学生生活上の制約に対するご理解・ご協力に深く感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染症は、新しい生活様式などの新たな課題をもたらした一方、日本国内においては、人口減少による生産年齢人口の減少問題と地域間格差の拡大、地域の弱体化等に起因する医療提供体制の確立問題、高齢化の進展と人生100年時代の到来等による社会構造・産業構造の変化、気候変動がもたらす予想外の災害の発生など、様々な問題が山積しています。さらに、世界に目を向けると、国家・民族間の諸問題の解決に向けた取り組みや新たなパンデミックの到来への備えの他にも、温室効果ガスの排出量と吸収量を均衡させる「カーボンニュートラル社会」の実現をはじめとする持続可能な開発目標（SDGs）の達成が地球規模で求められています。従って、私たちはこれらの国内外の問題を自らの課題として捉え、身近なところから取り組むことにより、それらの問題の解決につなげ、持続可能な社会を創造していくことが求められているのです。皆さんは、これまでに培われた知識・技術、取得された資格等を活用されながら、種々の課題に辛抱強く取り組み、ローカルにもグローバルにも活躍していただけるものと期待しております。

ところで、4年前の入学式において、私は理事長を拝命して初めてとなる入学式のご挨拶の中で、一代で世界的企業に発展させた経営者の遺訓を引用し、「未来は予測すべきものではなく、みずから創造していくべきもの」と申し上げました。コロナ禍やウクライナ情勢をはじめ予測不可能な時代の到来を迎えている今、この姿勢は今後ますます重要になると考えています。卒業生・修了生の皆さんが、多様性を秘めたアクティブな人材として今後の輝かしい人生を過ごすためにも、大学で身に付けられた「自分で情報を収集して、

自分で考える」というアクティブ・ラーニングの姿勢を継続していくことが、これからも重要です。皆さんは、在学中に知識・技術を培われ、資格等も取得されたことと思いますが、卒業して社会に出ると、いかなる場面にでも利用できるような画一的な「知識」などは存在せず、皆さん自身で情報収集を行い、その状況に応じて判断し、未来を切り拓いていく「知恵」の力が必要となるのです。また、キャリアは偶然の出来事の積み重ねの影響を大きく受けながら形成されるものであり、偶然の出来事を積極的な姿勢で最大限活用していくことが、自らのキャリアの発展に繋がり得るとする「計画的偶発性理論」があります。皆さんはコロナ禍による予測不可能な様々な困難と制約に直面されましたが、それと同時に数々の偶然の出来事を経験されたことと思います。そして、日々努力を重ねられ、本日でめでたく卒業の日を迎えられました。その経験をどうか今後のキャリアの糧にいただき、卒業生の皆さんが輝かしい未来の実現を目指し、これからも「揺るぎなく前進」されることを心より願っております。

そして福山大学の卒業生として、福山大学創設者の宮地茂先生が表明された「三蔵五訓」、すなわち、

- 一、真理を探究し、道理を実践する
- 一、豊かな品性を養い、不屈の魂を育てる
- 一、生命を尊重し、自然を畏敬する
- 一、個性を伸展し、紐帯性を培う
- 一、未来を志向し、可能性に挑む

という理念をこれからも胸に刻み、実社会に羽ばたいてください。本学在学中に得た恩師・学友との絆はこれからの人生において貴重な宝であり、同窓会を通じて交流を深めていただき、自らを発展させるための糧としてくださるようお願いいたします。そして、いつでも気軽にこのキャンパスに足を運び、恩師に元気な顔を見せていただければと思います。卒業生の皆さんのご活躍が、後輩諸君の一層の成長と学校法人福山大学の益々の発展に繋がるものと考えます。どうか皆さんには、福山大学の卒業生としての誇りをもって、社会を担う貴重な存在へと成長いただくことを心から期待申し上げます。

最後になりますが、これまで慈しみ育てていただいたご家族への感謝の気持ちを大切にくださるようお願いするとともに、皆様方の益々のご健勝とご活躍を祈念申し上げ、お祝いと激励の気持ちを込めて、ご挨拶とさせていただきます。

令和5年3月20日

令和4年度 学位記授与式 来賓祝辞



福山市長 枝広 直幹

卒業生・修了生の皆様、御卒業、誠におめでとうございます。長期化するコロナ禍の影響を乗り越えて晴れの日を迎えられた皆様はもとより、支えてこられた御家族・保護者の皆様にも、心からお祝いを申し上げます。また、これまで熱意と愛情を持って指導にあたってこられた学長をはじめ、諸先生方にも、深く敬意を表します。

私たちは、国際情勢の緊迫化、気候変動に起因する自然災害など、これまでに経験したことがない多くの困難や試練に直面しています。逆境を乗り越え、未来を切り拓くためには、常識や固定観念にとらわれず、時代の変化に即応できる柔軟な発想が必要となってきています。

皆様は、福山大学の建学の精神である「地域社会に広く開かれた大学として、学問のみに偏重するのではなく、真理を愛し、道理を实践する知行合一の教育によって、人間性を尊重し、調和的な人格陶冶を目指す全人教育」に基づき、専門的な知識や技能のみならず、情報リテラシーや語学力、コミュニケーション能力など、様々な教養を身に付けられてきました。高められた総合的な人間力は、これからの社会において、必ず大きな力にな

ることと思います。

備後地域で唯一の総合大学である福山大学は、これまで多様な人材を輩出し、地域の社会経済だけでなく、我が国の発展にも大きく貢献してこられました。この度、御卒業される皆様も、地域の課題を解決できる人材として、また世界に貢献できる人材として御活躍いただけるものと確信しております。

昨年、福山城が築城400年という大きな節目を迎え、多くの皆様の御協力により、盛大に祝うことができました。今後も、世界バラ会議福山大会2025の開催など、人や企業を惹きつける都市魅力を創造し、安心と希望の都市の実現に向け、力強く歩を進めてまいります。皆様には社会に出られてからも、いつかまた、福山市のまちづくりに貢献していただけることを切に願っております。

最後に、皆様の御健康と御多幸をお祈り申し上げますとともに、福山大学の今後ますますの御発展を祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。

令和5年3月20日

令和4年度 学位記授与式 来賓祝辞



福山商工会議所 会頭 小丸 成洋

卒業生の皆さん、ご卒業誠におめでとうございます。卒業生の皆さま方はもとより、ご家族をはじめ、ご関係者のお喜びもひとしおかと拝察し、心からお祝いを申し上げます。

さて、すでに3年に及ぶコロナ禍が、社会生活の様々な場面に制約を加えてきましたが、ようやく行動制限緩和の議論が始まり、社会や経済活動の再活性化が期待できる状況になりました。特に皆さま方におかれましては、学生時代にしか経験できない友人との交流や知見を広めるための旅行など、制約が多い学生生活であったと心を痛めております。しかし、皆様におかれましては、逆境の中で培った経験を糧に、社会で大きく羽ばたき、活躍していただけるものと期待しております。

福山商工会議所は現在、社会、経済活動を再活性化するため、『『オール福山!』、『バイ福山!』で郷土福山を元気にする!』をキャッチフレーズに、地域の皆さま方の声に耳を傾け、産・学・官・民の橋渡し役を担い、上場企業や福山で成長した企業の皆さま方に商工会議所活動への参画を促し、福山を一つのチームとし各種事業活動に取り組んでいます。

また、こうした活動を地域の中小企業の皆さま方に支えていただくためには、専門的な知識だけでなく、技能や生きるコミュニケーション能力などの人間力が備わった人材が必要と考えております。

福山大学におかれましては、昭和50年の開学以来、常に時代のニーズに応え、確かな人間力を身につけることができる全学的教育システムを構築され、新たな時代を担う優秀な人材を数多く産業界に送り出し、地域経済をしっかりと支えていただいております。

皆さまの諸先輩方は、当地域をはじめ各地の企業で立派に責任を果たされ、高い評価を受けておられます。先輩方が積み重ねてきた信頼と実績を鑑とし、立派な社会人として日本経済の発展や地域の振興に貢献していただけますよう、お願い申し上げます。

終わりに、皆さま方が新たな時代を切り拓く勇氣と情熱を持ち、社会の発展のために素晴らしいご活躍をされますことを心からお祈り申し上げますとともに、貴大学の今後ますますのご発展を祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。

令和5年3月20日

令和4年度 学位記授与式 在学生送辞



工学部 在学生総代
情報工学科

小山 淳之介

厳しかった冬の寒さも和らぎ、暖かな春の日差しを感じられる季節となりました。本日晴れて福山大学を卒業され、新たな未来への一步を踏み出される卒業生の皆様、誠にありがとうございます。在学生を代表し心よりお祝い申し上げます。

新型コロナウイルスの影響で私たちの学生生活は大きな影響を受け、普段の学業から部活動や就職活動などの課外活動において今までにない変化に対応せざるを得ない状況になりました。通常通りの大学生活を送ることが出来ずままならない思いをした事もあったと思います。もし、このような状況で無かったらやりたかったことも山のようにあると思います。しかし、このような逆境だからこそ新しい事にチャレンジ出来る場面もそこで得られた経験もあったかと思えます。

先輩方は常に私たち後輩の手本となって下さり、

私たちは私たちの前を進み続ける先輩方を追いかけてながら数多くのことを学びました。私自身も部活動では始めたばかりで経験もなく右も左も分かっておらず数多くの不安や悩みを抱えていました。そのような時、ひたむきに努力を積み重ねる先輩方の姿を見て自分もこうなりたいと思い、何があっても挫ける事無く成長していく事が出来ました。皆様と過ごした日々は私たちにとってかけがいのない宝物です。今日まで私たちを導いてくださり、本当にありがとうございました。

最後になりましたが、皆様と過ごした大学生活は私たちにとってかけがえのない時間となりました。先輩方への感謝の言葉を在学生代表としてお伝えすることができ、非常に嬉しく思います。先輩方の更なるご健勝とご多幸を心からお祈りし、送辞とさせていただきます。

令和5年3月20日



令和4年度 学位記授与式 卒業生答辞



卒業生総代
薬学部 薬学科 道原 あやな

やわらかな日差しとともに、日々の景色が春の色へと移ろう季節となりました。本日は、新型コロナウイルスの感染対策に配慮していただき、諸先生方のご臨席を賜り、学位記授与式を挙行していただきましたこと、卒業生一同を代表して、心より感謝申し上げます。

また、お忙しい中、理事長鈴木省三先生、学長大塚豊先生をはじめ、諸先生方にご臨席をいただき、心より御礼申し上げます。先ほどは、理事長先生並びに学長先生より訓示と激励のお言葉を賜り、また在学生の方からは温かい励ましの言葉をいただき、重ねて御礼申し上げます。

振り返りますと、六年前の四月、私たちは真っ新たなスーツに身を包み、不安と期待に胸を躍らせながら入学式を迎えました。当時、この大学会館を出て目に入った満開の桜に、「必ず薬剤師になる」と誓ったことを今でもよく覚えています。はじめは長いと感じた学生生活も日々追われる学業や卒業研究、学外活動を一生懸命に行えばこそ、瞬く間に過ぎていきました。その中で私たちは諸先生方の、時にやさしく、時に厳しく、的確なご指導を受け、大いなる知恵を得ました。そして何より、学友と苦楽を共にし、励まし合いながら、有意義な時間を過ごすことができました。

私は一年次より、中国新聞社のキャンパスリポーターとして学友たちの活躍を取材してまいりました。印象的であったキャリアデザインゼミ、工学部のびんご建築女子、薬学部の実務実習ポスター賞授賞式や薬学部開設四十周年記念式典等、六年間で約七〇本の新聞記事を投稿しました。その結果、中国新聞社キャンパス

リポーター年間表彰では史上初の五年連続、入賞を果たすことができました。この活動を通して学んだことは、目標を達成するための計画性、情報の収集と発信の重要性でした。

さらにこの活動により得た経験は、学業や卒業研究においても重要な視点を与え、学友との討論や諸先生方からのご指導もあり、いかなる問題も解決に繋がられたと思います。特に、先日受験した薬剤師国家試験では、学業と両立して努力し続けてきた経験が自信となりました。その際に、恩師からいただいた言葉は今もなお忘れられません。「君は強くて、勇敢で、賢い」。改めてこの言葉をかみしめ、これから待ち受けている重圧に勇敢な意志を持って最後まで挑めるように、今後更なる努力をしていきたいと思っています。

福山大学での六年間は、まさに、苦悩と挑戦の連続でした。ただ不思議と思い出されるのは、学友と笑いあった楽しい記憶ばかりです。卒業に際してそんな学友との別れに寂しさを感じずにはられません。

人生の岐路に立つ今、私たち卒業生は各々の夢へと向かって歩みを進めます。社会人となり、大きな壁に直面する度、福山大学での六年間を思い出し、新たな仲間や先輩方とともに様々な問題を乗り越えていきたいと思っています。

結びにあたり、今日までお世話になった諸先生方並びに職員の皆様、私たちを支え、導いて下さったすべての方々に心より御礼申し上げます。皆様方のご健康と福山大学の輝かしい発展、在学生の皆様のご活躍を願い、答辞と致します。

令和5年3月20日

令和4年度 学生表彰(卒業生・修了生)受賞者一覧

【学長賞】

No	部 門	学部／研究科	学科／専攻	氏 名
1	スポーツ部門	経済学部	経済学科	畠中 健人
2	学 業 部 門	薬学部	薬学科	道原 あやな
3	学 業 部 門	薬学部	薬学科	山岡 愛主
4	学 業 部 門	工学研究科	電子・電気工学専攻	猪原 基周
5	学 業 部 門	薬学研究科	医療薬学専攻	番匠谷 研吾

【奨励賞】

No	部 門	学部／研究科	学科／専攻	氏 名
1	学 業 部 門	工学部	情報工学科	濱田 流伊
2	学 業 部 門	薬学部	薬学科	岸本 大樹
3	学 業 部 門	薬学部	薬学科	吉岡 利紗
4	学 業 部 門	工学研究科	電子・電気工学専攻	大本 智也

※受賞者については、令和5年3月20日(月)の学位記授与式(卒業式)において表彰を行いました。

編 集 後 記

卒業生・修了生の皆様、ご卒業おめでとうございます。
皆様の進む道に良い風が吹くようお祈りいたします。

学報は来年度も発行いたします。福山大学Instagram
共々、引き続きよろしく願いいたします。

発 行 福山大学

編 集 福山大学広報委員会

〒729-0292

広島県福山市学園町1番地三蔵

TEL (084)936-2111

FAX (084)936-2213

<https://www.fukuyama-u.ac.jp>